

ミツバチの役割紹介

秋田屋本店・中村社長

SDGsの視点で語る

メディアコス



燦餐の会の講演会でミツバチのSDGsへの貢献を紹介する中村源次郎さん＝岐阜市司町、みんなの森ぎふメディアコスモス

県産の食材や郷土の食文化など地産地消を実践する「燦餐の会」の講演会が、岐阜市司町のみんなの森ぎふメディアコスモスで開かれ、同会の会長を務める秋田屋本店社長の中村源次郎さんが「ミツバチ社会とS

DGsの親和性」をテーマに、ミツバチが行う花粉交配が植物の育成や食料生産に役立っていることを紹介した。燦餐の会は毎月定例会を開き、食に関する勉強会をしている。新型コロナウイルス

ルスの影響で昨年3月以降、活動を取りやめていたが、今月から再開した。中村さんは、生物の多様性や国連の持続可能な開発目標(SDGs)の観点から「ミツバチが花粉交配することで植物が育ち、その植物が光合成をして二酸化炭素から酸素が生み出され、地球温暖化防止へとつながっていく」などとミツバチが果たす役割を話した。(小森孝美)